

# 令和4年度「全国学力・学習状況調査」

## 調査結果の概要及び今後の取組について

みなべ町教育委員会

令和4年4月19日に実施された「全国学力・学習状況調査」の調査結果の概要及び今後の取り組みについて、お知らせいたします。

この調査は、小学6年生と中学3年生を対象とし、「教科に関する調査」について小学校は国語・算数・理科、中学校は国語・数学・理科を実施し、児童生徒の学習意欲や学習環境等を調査する「質問紙調査」も併せて実施いたしました。

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立を目的とし、実施したものです。

本教育委員会では、町内小中学校全体の調査結果の概要と今後の取組について広く町民の皆様にお知らせし、子どもたちの学力向上・学習環境の改善に向けて、学校・保護者・地域が一体となった取組を進めてまいります。ご理解ご協力をお願いいたします。

### 1 教科に関する調査結果について

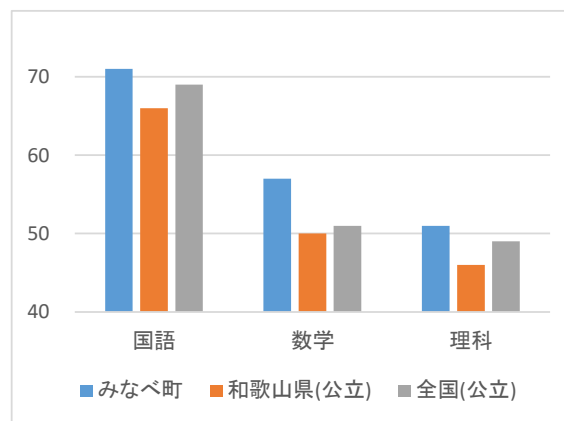
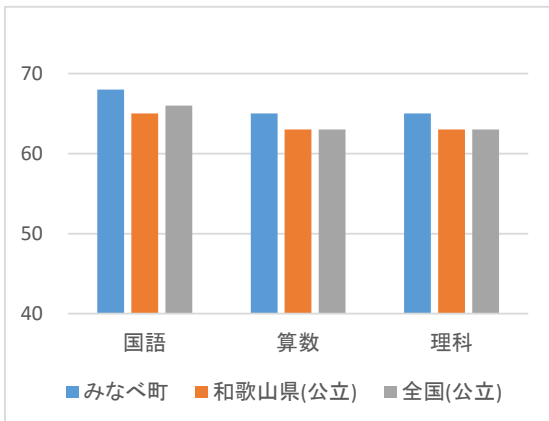
#### (1)平均正答率(%)

##### 小学校 第6学年

	国語	算数	理科
みなべ町	68	65	65
和歌山県(公立)	65	63	63
全国(公立)	66	63	63

##### 中学校 第3学年

	国語	数学	理科
みなべ町	71	57	51
和歌山県(公立)	66	50	46
全国(公立)	69	51	49



今年度は、国語、算数(数学)に加え、理科の調査も行われました。理科については、3年に一度の頻度で調査が行われています。

小学校においては、すべての教科で全国・県平均を上回る結果となりました。令和元年から計3回の調査が実施されましたが、今回もすべてにおいて全国・県平均を上回っており、子どもたちに一定の力が身につけてきていることが考えられます。

中学校においても、すべての教科で、全国・県平均を上回る結果となりました。3年前の令和元年調査の算数では全国平均を4ポイントを上回りましたが、今回の調査の数学では全国平均を6ポイントも上回る結果となりました。

(2)各教科の学習指導要領の領域別平均正答率

学年	小学校6年生	中学校3年生
教科	国語	国語
学習指導要領の内容	国語	国語
話すこと・聞くこと	◎	—
書くこと	○	—
読むこと	—	—
言葉の特徴や使い方に関する事項	—	○
教科	算数	数学
学習指導要領の領域	算数	数学
数と計算/数と式	—	◎
図形	—	—
測定・変化と関係/関数	○	—
データの活用	—	○
教科	理科	理科
学習指導要領の領域	理科	理科
エネルギー	—	—
粒子	—	—
生命	—	—
地球	○	○

**国語**  
 小学校では、話すこと・聞くことにおいて、全国を6.3ポイントを上回る結果となり、主体的・対話的な深い学び(発表やグループ学習など)のための授業改善の成果がでています。  
 中学校では、言葉の特徴や使い方に関する事項において、全国を3.1ポイント上回る結果となりましたが、その他の内容においては全国と同程度となりました。

**算数・数学**  
 小学校では、変化と関係の領域においては、全国を3.4ポイント上回る結果となり、その他の領域においては全国と同程度となりました。  
 中学校では、数と式の領域において、全国を12ポイントも上回る結果となり、データの活用の領域においては、全国を3.9ポイント上回りました。

**理科**  
 小学校、中学校とも、地球の区分・領域において、全国をそれぞれ3.6ポイント、3.1ポイント上回り、その他の区分・領域においては、全国と同程度の結果となりました。

◎：全国平均に比べ5ポイント以上高い      ○：全国平均に比べ3～5ポイント高い  
 ▼：全国平均に比べ5ポイント以上低い      ▽：全国平均に比べ3～5ポイント低い  
 —：全国平均との差が3ポイント未満

(3)教科の概要      ◇よかったところ      ◆課題が見られたところ

小学校

国語

◇必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることがよくできています。  
 ◇言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えることがよくできています。  
 ◆文章に対する感想や意見を伝え合い、自分のよいところを見付けることに課題が見られました  
 ◆互いの立場や意図を明確にしなが、自分の考えをまとめることに課題が見られました。

算数

◇示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述することがよくできていました。  
 ◇百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることがよくできていました。  
 ◆示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察することに課題が見られました。  
 ◆示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことに理解することに課題が見られました。

理科

◇問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えを持つことがよくできていました。  
 ◇予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えを持つことがよくできていました。  
 ◆日光が直進することを理解することに課題が見られました。  
 ◆自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題が見られました。

今後の取組について

・ただ自分の考えを伝えたり他者の考えを聞いたりするのではなく、もう一度自分の考えたことを振り返ったり付け加えたり、また修正したりするなど、主体的で対話的な深い学びの実現を目指します。  
 ・子どもたちが学習場面を正確に把握し、何のための学習なのか目的をもちながら、観察や操作、実験等を取り入れた学習指導を充実させます。

中学校

国語

◇漢字の行書の読みやすい書き方について理解することがよくできていました。  
 ◇自分の考えをどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書くことができていました。  
 ◆場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることに課題が見られました。  
 ◆行書の特徴を踏まえた書き方についての問題で課題が見られました。

## 数学

- ◇連立二元一次方程式を解くことがよくできていました。
- ◇自然数を素数の積で表すこと(素因数分解)がよくできていました。
- ◆一次関数の変化の割合の意味を答える問題に課題が見られました。
- ◆筋道立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することに課題が見られました。

## 理科

- ◇化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子モデルで表した図を基に化学反応式で表すことがよくできていました。
- ◇モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画することがよくできていました。
- ◆力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明することに課題が見られました。
- ◆液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用することに課題が見られました。

## 今後の取組について

- ・場面設定や登場人物の心情やその変化などについて、描写を基に捉える機会を作り、思考力、判断力、表現力等の育成を図ります。
- ・問題の条件を変えるなどして、事柄に対する見方や考え方を深める活動を通して、論理的思考力を高める指導を行います。
- ・様々な場面で、得た知識及び技能を活用し、実験結果やその考察をさせる活動を通して、自分の考えを根拠を明確にしながら表現する時間の確保に努めます。

## 2 質問紙の調査結果について (全国に対して5%以上差があり課題となる部分に▲)

(全国と比べ特徴的な結果の出ている質問について紹介します。)

### (1)「読書は好きですか」

「あてはまる、どちらかといえばあてはまる」を合わせると、全国平均に比べ、小学校では13.3%、中学校では9.7%下回っている。小中学校においては、児童生徒が楽しみながら読書できるように、図書館司書等との連携を密にしながら、読書活動の推進を図っていきます。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
あてはまる	22.5	41.9	▲19.4	27.1	37.9	▲10.8
どちらかといえばあてはまる	37.3	31.2	6.1	31.4	30.3	1.1

(単位: %)

### (2)「普段(平日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式ゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしていますか」

小学校では全国と同程度の結果であるが、中学校では、1時間～3時間の割合が全国に比べ高い結果となりました。また、小学校において、3時間以上の割合が約30%と、約3人に1人が長時間使用しており、深刻な問題といえます。

平日のテレビゲームの時間	時間	小学校			中学校		
		みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
	3時間以上	27.5	30.7	3.2	15.7	29.8	14.1
	1～3時間	48.0	45.4	2.6	60.0	41.5	▲18.5
	1時間未満	24.5	23.9	0.6	24.3	28.6	4.3

(単位: %)

### (3)「5年生まで(中1、2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」

「ほぼ毎日」使用する割合について、小学校では全国を大きく上回り、中学校では全国を大きく下回っている結果となりました。このことから、小学校より中学校の方が使用頻度が少ないことが分かります。しかしながら、本年度はGIGAスクール構想のより一層の推進をめざし、各学校において取組を進めているところです。今後も、ICT機器の利活用について研究を進めていきます。

使用頻度		小学校			中学校		
		みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
	ほぼ毎日	39.2	26.7	12.5	1.4	21.6	▲20.2
	週3回以上	17.6	31.5	▲13.9	14.3	29.3	▲15.0
	週1回以上	20.6	25.0	4.4	47.1	29.7	17.4

(単位: %)

#### (4)「家で自分の計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)」

小学校では、「ときどきしている」の割合について全国と大きな差があり、中学校では「よくしている」の割合が全国より6.8%下回る結果となりました。各学校においては、子どもたちが家庭学習の必要性や予習復習の大切さを自覚し、実行していけるよう、家庭学習についての指導を充実させていきます。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
よくしている	27.5	27.5	0	8.6	15.4	▲6.8
ときどきしている	29.4	43.6	▲14.2	47.1	43.1	4.0

(単位:%)

#### (5)「将来の夢や目標を持っていますか」

「あてはまる」の割合について、小学校、中学校ともに全国を約14%下回る結果となりました。また「どちらかといえばあてはまる」の割合は、小学校、中学校ともに全国を上回っています。これらの結果から、将来の自分の姿が曖昧で、はっきりと想像できていない子どもたちが多くと考えられるため、今後もキャリア教育のより一層の充実が求められます。各学校においては、子どもたちがまず自分自身を理解し、その自分に合う職業を見つけられるよう指導していきます。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
あてはまる	47.1	60.4	▲13.3	25.7	39.8	▲14.1
どちらかといえばあてはまる	25.5	19.4	6.1	41.4	27.5	13.9

(単位:%)

みなべ町の学力状況は、今年度、小学校、中学校ともに全国平均より高い正答率でした。しかし、問題別や問題形式で解答状況を見ると、正答率に大きな差がみられます。これらの差をなくしていくために、学校では授業改善の取組を継続的に行い、すべての教科の学習を通して子どもたちが確かな学力を身につけられるよう努めていきます。また、昨年度から整備されたGIGA端末の効果的な利活用についても町内の学校全体で研究を進め、情報活用能力の育成にも力を入れて取り組んでいきます。

まだまだ終わりが見えない新型コロナウイルスの影響は大きいですが、できる限り協働的な学びを取り入れ、子どもたちが自分の良さや相手の良さを互いに認め合える学校づくりをめざします。そして、様々な場面で得た知識や経験を活かし、将来なりたい自分を見つけ、そこに向かって成長できる、心豊かでたくましい子どもを育てていきます。